平成 29 年度 行政改革審議会 議事録要旨

日 時	平成 29 年 7 月 5 日（水）午後 1 時 30 分～ 3 時	
場 所	市役所 本庁舎第 10 会議室	
出席者	委 員	（会長）沓名俊裕、（副会長）秀島栄三、大塚英理子、小森義史、平岩政志、山下眞志、杉浦公紀、鳥居保、松田貴子
	事務局	行革・政策監、経営管理課長 経営管理課（経営管理課補佐、池田、近藤、中川） ※副市長、企画部長は公務により途中退席（次第 4 まで）
次 第	1 辞令交付 2 市民憲章唱和 3 副市長あいさつ 4 自己紹介 5 会長の選任及び副会長の指名 6 会長あいさつ 7 議題 （1）第 6 次安城市行政改革大綱の概要等について （2）品質マネジメントシステムの 28 年度運用状況について	

1 辞令交付

2 市民憲章唱和

3 副市長あいさつ

4 自己紹介

5 会長の選任及び副会長の指名

会長は沓名委員、副会長は秀島委員に決定

6 会長あいさつ

7 議題

（1）第 6 次安城市行政改革大綱の概要等について

（事務局説明）

・ 委員

事前にいただいている第 6 次行政改革大綱の冊子の中のことも良いか。

・ 事務局

問題ありません。よろしく申し上げます。

・ 委員

推進体制図の内部にあたる行政改革推進委員会は、場合によっては開かれな
い場合があるのか。

・ 事務局

外部の行政改革審議会に諮る前には必ず内部の行政改革推進委員会を開催し
議論を行ってまいります。

- ・委員

内部で諮ったものをこの審議会で見るということで良いか。

- ・事務局

はい。そのとおりでございます。

- ・委員

取組の視点、4 Cの中のCS（カスタマーサティスファクション）について、おそらく定量的に量られていると思うが、満足度が90%台で推移してるのは考えられない。

資料2を見ると、行政の品質目標の達成状況のグラフ表示が50%から始まっているのは、これより上しか評価してないということか。渋々でも一定の満足を選択せざるを得ないとなると、多分良いものはできてこないと思う。

- ・事務局

次の議題にはなりますが、資料2のグラフが50%以上となっているのは、あくまでも見やすい加工としているものですので、何か作為的なものがあるというわけではありませんので、よろしくお願いします。

- ・委員

取組の視点のCSは、どのように評価するのか。民間は随分前からカスタマーディライトを目指している。いつまでも底辺のCSばかりやっても満足度はあがってこないと思うがどうか。

- ・事務局

取組の視点に掲げるCSは、指標化するものではなく、常にお客様のことを考えながら実行プランに取り組むという、職員が持つべき視点として掲載しているものです。

- ・委員

ぜひ実行プランを評価する際には、今どこまで達成したのかというところまでわかるようにしていただくと判断がしやすいと思う。

もう1点は、審議会に諮るにあたっては、結果だけではなく、その検討のプロセスをできる限り開示をしていただきたい。内部でどのような話があったというところが分かれば非常にありがたいと思うので、その辺りを考慮していただければと思う。

- ・事務局

わかりました。審議会に諮る進捗評価の際には、その方針決定に至った経緯等をできる限り説明してまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

- ・委員

行政改革を行う際の力の入れどころで気になる点として、例えば第5次行政改革大綱の「コスト・成果を重視する行政経営」について、プランも非常に多いわけだが、市が使命としてやるべきは、質の高い市民サービスや協働の推進である。情報の共有化や自立的な経営基盤の確保、コスト成果と言っても、一般の市民感覚からすれば少し遠い話で、あまり実感が無い。

したがって、行政改革の力点というか市のウエートからすれば、個人的にはプランの半数は質の高い市民サービスや市民参加と協働の推進が良い。あとはそれぞれの業務の中で、コスト削減や合理化を図っていくのが本来ではないかと思う。皆さんの見方は違うかもしれないが、私はそういう期待をしたい。

・事務局

第6次行政改革大綱も、適正な財政運営の実行プランが厚めになっているところではございますが、我々としては、まずは市民との協働ですとか、現在掲げている実行プランを確実に推進するという事、また、適正な財政運営に掲げるプランであっても、市民サービスができるだけ低下しない手法を考えながら進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

・委員

第6次行政改革大綱の冊子10ページの「創意と工夫の継続実施」というプランについて、これは最終的に、事業のスクラップアンドビルドまで持つてくという考え方で良いか。

・事務局

毎年度、当初予算編成の中で、各課2提案以上だったと思いますが、金額の大小に限らず、必ず今までのやり方を見直して経費を節減する取組を提案することとしておりますので、そういう意味ではスクラップと言えらると思います。

・委員

課単位でのコスト削減や効率化の話が多いのではないか。

・事務局

そういうパターンが多いです。

・委員

わかりました。事務事業総点検もやられたということなので、ぜひもう少し視点を広げてやっていただくようお願ひをしたい。

続いて11ページの「公立幼稚園・保育園の民営化を含めたあり方の検討」についてだが、市としては認定こども園はやらないという方向か。

・事務局

あり方の検討にあたっては、少子化が進んでいる現状や伸び続ける保育需要、またその一方で、若干定員割れをしております幼稚園の状況などを、総合的に勘案し、認定こども園も含め、あらゆるパターンを想定して考えていきたいと考えております。

・委員

わかりました。

続いて、14ページの「公用車のより効率的な維持管理手法の検討」については、ぜひ公用車を導入する際には災害時のことも考えていただきたい。特に透析の人や、電源がなくなると困る人がたくさんいらっしゃるので、PHVなども考えに入れて検討を行っていただきたい。

あと、17ページの「広告事業の推進」だが、この中にはネーミングライツに関しては、何も書かれていないと思うが、何か考えはあるのか。

・事務局

実行プランの検討の中では、当然ネーミングライツもどうだろうかという検討は行いましたが、名古屋市などの大都市は別として、安城市の歩道橋や施設を使ってネーミングライツをやるというのは需要があるのかなど疑義もあり、今回は別の広告収入の手法を優先して考えていくということになりました。

・委員

新しい施設の名前を市民公募で付けるのは良いと思うが、体育館などは東京オリンピックで注目も浴びると思うので、そろそろネーミングライツを考えても良いのではないかという気がするので申し上げた。

続いて、26ページの「減災まちづくり研究会の活性化による地域防災力の向上」について、一言申し上げたい。この研究会は、市制施行60周年の防災フェアというイベントで集まったメンバーであり、市民の代表者ではない。このメンバーに地域防災力の向上を諮って、市全体の意見のように扱ってもらうのは非常に危険だと思う。この中には、障害者や女性、子供の視点がほとんど入っていない。これは災害時の暮らしに非常に関わりのあるところなので、ぜひその辺りをもう一度再考してもらえないかと思う。

・事務局

実行プランを取り下げることは難しいですが、委員からご指摘をいただいたような視点は十分に踏まえて取り組んでいくよう、担当課である危機管理課に伝えさせていただきます。

・委員

私も減災まちづくり研究会については、全く同じ意見である。

お互いに情報を共有できるようになったことは良かったが、80もの団体が1か所に集まって何かを行うのは不可能だと思うので、もう1度仕切り直して、やり方を変えたほうが良いという意見があったと伝えてほしい。

- ・事務局

分かりました。

- ・委員

市民の代表として言えば、多くの市民は、市役所業務について窓口などの目に見える一部のところ以外、ほとんど知らない。その意味で、市民と行政の相互理解がまだ十分にできてない。

今後の取組にあたっては、市民の側に立って、市民との距離感を大切にしながら、行政のやっていることを理解していただく、そういった視点で取組に当たっていただきたい。

(2) 品質マネジメントシステムの28年度運用状況について

(事務局説明)

- ・委員

今、説明のあった品質マネジメントシステムがあれば、それだけでもかなり行政評価ができると思うが、そうであるとすると、今後行っていく議題1で議論してきた行政改革大綱の評価とは、どのような関係になるのか。

- ・事務局

品質マネジメントシステムは、ISOの流れを汲んで引き続き取り組んでいるものです。行政改革大綱に掲げる実行プランを、部署によっては品質マネジメントシステムにおける部の仕事方針や課の重点課題、係の年度目標に位置付けて取り組んでいるところもございます。

あくまで行政改革大綱での取組は、行政改革に焦点を当てて、あらゆる事業を特出ししているという考え方でございます。

- ・委員

品質マネジメントシステムの位置付けと実行プラン個々の計画に対する評価の位置付けがはっきりしないということだと思うが、私の解釈では、ここで言う品質マネジメントシステムは、各課が毎年立てる業務計画に対するPDCA評価であり、行政改革大綱で掲げる実行プランの評価は、それとは別に長期計画の中で個々にPDCAをまわしていると、そう言ってもらえば分かりやすい

と思う。行政改革大綱については、市で判断を行った内部評価についてもご意見をいただきたいと、そういうことで良いか。

・事務局

そのとおりでございます。

・委員

行政改革大綱の実行プランの中で数値目標を掲げていないものは、何を目標としているのかが分からない。数値目標が載っていないプランは、達成できたのかできていないのか評価のしようがないのではないかと。

・事務局

委員言われるとおり、実行プランの中には明確に数値目標が示してあるものと、大まかに矢印が打ってあるだけというものもございます。

私どもとしても、成果指標を設定することが望ましいことは重々承知しておりますが、今回のプランは、多くの課題を抱えながらも今後に向け、市として取り組んでいかななくてはならない課題を掲げておりますので、本当にゼロに近い状態から検討を始めていくものも多くあります。これらについてまで指標を掲げてしまうと、かえって内容がないものになってしまうのではないかと考えているところでございます。

・委員

そうだとしたら、我々が評価を行う際には、各課の担当者がこの場に来て説明をされるのか。もし来られないとしたら、表面的な議論しかできないと思う。

・委員

他の審議会の例では、市が審議会の前に事前に資料を委員に送付して、意見書や質問書を提出してもらっている。事務局はその質問書の回答を作成し、その回答を基に審議会を開いている。そうした進め方でお願いしたい。

・事務局

評価に当たっては、事前に委員の皆さまからいただいた意見書等に基づき、我々も事前に担当課から回答をいただいた上で、協議をしていただく予定をしております。また、内容によって、より議論を深めるために必要であれば、この場に直接担当課が出席するなど、臨機応変に対応してまいりたい。

・委員

先にご意見のあった、実行プランの中に指標が掲げていないものがあるという指摘については、パブリックコメントでも多くの意見が出されている。

まだこれから様々な検討を行っていくので、詳細が決まっていないというこ

とは理解するが、現状の実行プランはアウトプットでしかない。本来はアウトカムで評価すべきだと思うが、それが非常に難しいのであればアウトプットでも構わないが、できる限りアウトカムで報告をしてほしい。

もう1点、昨年、一昨年とパブリックコメントにかけている計画が市全体としてたくさんある。経営管理課のようにしっかりとPDCAをまわしている課もあるが、中には、マネジメントサイクルを反映してない計画等もある。

本来は市民協働課の市民参加推進評価会議で議論する話かも知れないが、課によって大きな差があるということだけは申し上げておきたい。

- ・委員

今回の概要の説明を聞き、概ね内容を理解できた。

- ・委員

事前に資料は読んできたが、今日、他の委員の皆さんのご意見等を聞いて、改めて自分はこういうことをやっていくんだと認識をさせていただいた。

- ・委員

品質マネジメントシステムの28年度運用状況の中に、PDCAサイクルを適用して継続的改善を図るという文言が記載されている。問題はどこまで徹底できるかだと思うので、ぜひ頑張ってください。

- ・委員

経費削減に熱心に取り組んでおられるのは良く分かったが、必要なところにはしっかりと費用を回していただきたいとも思う。

先日参加した歴史博物館主催の講座で文化財の施設めぐりをした際、歴史的な価値のある建造物で痛みの激しいものがあった。朽ちてからでは修復が難しいので、少しでも費用を回していただけたらと思う。

- ・委員

いろいろご意見を申し上げたが、安城市の職員は非常にまじめで、しっかりと対応していただいているので、それだけは申し上げたい。他市と比較しても非常に高いレベルにある。その上でさらによくするために、改善してほしい点を指摘しているので、誤解のないようお願いしたい。